

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	看護過程の応用と成人看護技術	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年次	学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担当教員	今若 広之	実務経験と その関連資格	総合病院で看護師として勤務		

《授業科目における学習内容》

成人援助論Ⅰで学んだ知識を基盤として、成人看護学実習Ⅱに活かせるように、事例を用いて周手術期のアセスメントの仕方と看護技術を学ぶ。患者の個別性・状況を捉え、潜在的な合併症や安全に対する予期的な認知力を高め、看護過程を展開し、終末期にある患者への必要な援助計画を立案することができる。

《成績評価の方法と基準》

授業参加状況、演習への取り組み、課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| ①系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 | ⑤系統看護学講座 がん看護学 医学書院 |
| ②系統看護学講座 臨床看護総論 医学書院    | ⑥系統看護学講座 緩和ケア 医学書院  |
| ③系統看護学講座 成人看護学総論 医学書院   | ⑦系統看護学講座 呼吸器 医学書院   |
| ④系統看護学講座 臨床外科看護各論 医学書院  | ⑧よくわかる周手術期看護 学研     |

《授業外における学習方法》

事例をもとに周手術期の看護展開を行う。手術及び全身麻酔による術後の合併症について復習しておく。術前に必要な検査をまとめる。終末期にある患者の看護展開に必要な学習をしておく。終末期にある患者、家族を4側面から捉えられるように復習しておく。

《履修に当たっての留意点》

成人期にある対象の健康問題の判別、解決に必要な基礎的知識など既習の学習を復習して臨んでほしい。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、急性期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、計画を立案することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。
	各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護。事例をもとに看護過程を展開し計画を立案する		
第2回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	周手術期にある患者に立案した計画を実施することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。
	各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護計画を立案し実施する		
第3回 演習形式	授業を通じての到達目標	周手術期にある患者に立案した計画を実施することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。
	各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護計画を立案し実施する		
第4回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、急性期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、計画を立案することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。
	各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護。事例をもとに看護過程を展開し計画を立案する		
第5回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	周手術期にある患者に立案した計画を実施することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。
	各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護計画を立案し実施する		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	周手術期にある患者に立案した計画を実施することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。
		各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護計画を立案し実施する		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	周手術期にある患者に立案した計画をグループで協力し発表することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。
		各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者への立案した看護計画を発表する。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、終末期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、計画を立案することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	事例をもとに考えた必要な看護過程を展開し計画を立案する		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	終末期にある患者に立案した計画を実施することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護計画を立案し実施する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	終末期にある患者に立案した計画を実施することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、呼吸器、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護計画を立案し実施する		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、終末期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、計画を立案することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	事例をもとに考えた必要な看護過程を展開し計画を立案する		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	終末期にある患者に立案した計画を実施することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護計画を立案し実施する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	終末期にある患者に立案した計画を実施することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護計画を立案し実施する		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	周手術期にある患者に立案した計画をグループで協力し発表することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者への立案した看護計画を発表する。		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	急性期、終末期の看護が説明できる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ、事前学習ノート緩和ケア、がん看護)	周手術期、終末期に必要な看護、看護技術を復習しておく
		各コマにおける授業予定	急性期の看護、終末期の看護のまとめ		